

学校番号	406
------	-----

## 令和3年度 公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	3単位	年次	1年次
使用教科書	最新現代社会(実教出版)						
副教材等	適宜資料等を配布						

### 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<p>・この科目は社会全体に起きている問題や課題、倫理的な事まで網羅している科目です。日々のニュースや出来事など、テレビ・インターネット・新聞などのメディアに目を通しておく事が大事です。また、色々な事に興味・関心を抱き、「今、日本や世界では何が起きているのか」ということを知り、「なぜその事象が起きているのか」という、探求心を持つことが大切です。</p> <p>・学習方法等は、初回の授業のガイダンスやその都度指示をしますので、毎回の授業にしっかりと出席をして聞いておくようにしてください。</p>
---

### 2 学習の到達目標

<p>・各学習単位において関心を持ち、積極的に授業に参加をし、日々刻々と移ろい変りゆく現代社会の諸問題について考察し、それらを生徒諸君が情報を適切に選択をして理解しているかを目標とする。</p>
---

### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	各学習単元の諸課題に対して関心をよせ、それらを意欲的に追究し、自己の生き方や役割について考察している。	各学習単元の諸課題を見出し、それらを多面的・多角的に考察し、様々な立場から公正に判断をし、学習内容の過程や結果を適切に判断している。	各学習単位に関する諸資料を様々なメディアを通じて収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、効果的に活用している。	各学習単元の諸課題を理解し、その知識を身につけている。
評 価 方 法	・毎時間の学習ノートまたは学習プリントが適切に写せているか。	・毎時間の授業にて与えられた課題に対して適切に判断できているか。	・毎時間の授業にて与えられた資料を適切に活用しているか。	・定期考査 ・毎時間の授業にて発問内容に対し適切に答えられているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	環境	人間の活動により生じている環境問題や、さまざまな環境問題の現状と、解決に向けた取り組みについて理解する。	○	○			<p>a: 人間の営みにより生じているさまざまな環境問題のかかわりに関心を持ち、その内容について学ぼうとしている。</p> <p>b: 環境問題の原因と影響についてさまざまな視点から思考し、意見を述べることができる。</p> <p>c: 環境問題の現状と課題を確認できる資料を収集し、判断の根拠として活用している。</p> <p>d: 環境問題の現状について、解決に向けて考察するための知識を理解し身につけている。</p>	定期考査の得点と授業中に与えられた課題(プリントもしくはノート)を適切にまとめ、理解できているか。
1	人口・エネルギー・資源	世界の人口問題と、食料・水資源の問題、エネルギー消費が増える現状、低炭素社会や循環型社会の実現に向けた取り組みを理解し、自身のライフスタイルについて考察する。	○	○			<p>a: 人口問題と食料・水資源・エネルギー問題に関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。</p> <p>b: 人口問題と食料・水資源・エネルギー問題について考えたことを意見として述べることができる。</p> <p>c: 人口問題と食料・水資源・エネルギー問題を理解するための資料を選択し、判断の根拠として活用している。</p> <p>d: 人口問題と食料・水資源・エネルギー問題について、考察するための知識を理解し身につけている。</p>	定期考査の得点と授業中に与えられた課題(プリントもしくはノート)を適切にまとめ、理解できているか。

1	生命	科学技術の発達(生命の誕生への介入や死の定義への対応)が人類にもたらす恩恵と影響を理解し、幸福を実現する対応や生命倫理について考察する。		○		○	<p>a: 科学技術の発達と人類のかかわり、生命倫理について関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。</p> <p>b: 科学技術の発達をもたらす恩恵と影響について思考し、判断したことを意見として述べることができる。</p> <p>c: 科学技術がもたらす結果と倫理観の関係を考察する資料を収集し、判断の根拠として活用している。</p> <p>d: 科学技術の発達による功罪をよく整理し、プレゼンテーションの手法をもちいて適切に問題点を提示できている。</p>	定期考査の得点と授業中に与えられた課題(プリントもしくはノート)を適切にまとめ、理解できているか。
1	情報	情報化社会の功罪を理解し、情報化への対応について考察する。	○		○	○	<p>a: 情報化社会に関心を持ち、情報とのかかわり方について学ぼうとしている。</p> <p>b: 情報化社会の功罪について思考し、判断したことを意見として述べることができる。</p> <p>c: 情報化社会の資料を収集し、判断の根拠として活用している。</p> <p>d: 情報と法や制度の状況について、その対応を考察するための知識を理解し身につけている。</p>	定期考査の得点と授業中に与えられた課題(プリントもしくはノート)を適切にまとめ、理解できているか。
1	青年期の意義	青年期の発達や悩みや男女、社会参画について理解し、自らの職業選択や自己実現の考え方を社会とのかかわりから考察する。	○	○			<p>a: 青年期における発達段階に関心を持ち、自分と関連させて学ぼうとしている。</p> <p>b: 悩みを合理的に解決する方法について思考し、適切な方法として判断したことを意見として述べることができる。</p> <p>c: 男女共同参画社会の資料を収集し、男女の社会参画のあり方の考察に活用している。</p> <p>d: 社会参画と自己実現について、その関係を考察するための知識を理解し身につけている。</p>	定期考査の得点と授業中に与えられた課題(プリントもしくはノート)を適切にまとめ、理解できているか。

1	よく生きるとは	人間の生き方や学ぶことの意義、宗教と人々の生活とのかかわりについて理解し、また、日本における思想の変遷を異文化との関係を通して理解し、日本の伝統や文化の多様性への理解を通して、新しい文化の創造や発信について考察する。	○	○			<p>a: 人として生きることに関心を持ち、よく生きることを学ぼうとしている。</p> <p>b: 学ぶことや、学び続けることの大切さについて思考し、その内容を意見として述べることができる。</p> <p>c: 人々の生活と宗教のかかわりの資料を収集し、考察する際に活用している。</p> <p>d: 文化の継承や創造、発信について、その特色に対応できる知識を理解し身につけている。</p>	定期考査の得点と授業中に与えられた課題(プリントもしくはノート)を適切にまとめ、理解できているか。
2	民主社会の原理と日本国憲法	立憲主義の広がりや確立について理解し、日本国憲法については三大原則を確認し、日本国憲法が保障する各権利(自由権・平等権・社会権等)や新しい人権の広がりについて理解し、それらの諸問題について考察する。	○			○	<p>a: 近代立憲主義の原理に関心を持ち、国家の成立について学ぼうとしている。</p> <p>b: 日本国憲法の三大原理の意義について思考し、その特色について意見を述べることができる。</p> <p>c: 日本国憲法で定める各権利(自由権・平等権・社会権等)の諸資料を収集し、その特色を考察することに活用している。</p> <p>d: 日本国憲法で定める各権利(自由権・平等権・社会権等)で社会問題になったことなどについて、その知識を理解し身につけている。</p>	定期考査の得点と授業中に与えられた課題(プリントもしくはノート)を適切にまとめ、理解できているか。
2	日本の政治機構と政治参加	日本の政治機構(国会・内閣・行政)の仕組みについて理解し、それらの役割などについて考察し、また諸外国との政治機構とも比較しながら相違点や類似点を考察する。更には18歳選挙権について確認をし、国民主権や民主主義について理解する。	○		○	○	<p>a: 日本の政治機構と政治参加に関心を持ち、その内容を学ぼうとしている。</p> <p>b: 世界の国々の採用している政治体制について思考し、その内容について意見を述べることができる。</p> <p>c: 日本の選挙に関する資料を収集し、制度や課題を考察するために活用している。</p> <p>d: 政治参加や選挙制度とその課題について考察するために必要な知識を理解し身につけている。</p>	定期考査の得点と授業中に与えられた課題(プリントもしくはノート)を適切にまとめ、理解できているか。

2	市場経済のしくみ	市場経済における考えや景気や物価の変動、経済活動や金融のしくみについて理解し、これらの役割や諸課題について考察する。	○	○		<p>a: 市場経済のしくみに関心を持ち、その内容を学ぼうとしている。</p> <p>b: 市場メカニズムについて公正をふまえて思考、判断し、その内容を意見として述べることができる。</p> <p>c: 経済をはかる指標の資料を収集し、経済変動を考察するために活用している。</p> <p>d: 景気変動と変動から派生する現象について考察するために必要な知識を理解し身につけている。</p>	定期考査の得点と授業中に与えられた課題(プリントもしくはノート)を適切にまとめ、理解できているか。
2	豊かな社会の実現をめざして	公害発生における対策や環境に対する取り組み、消費者問題や労働者における権利や我が国の社会保障に関する問題を理解し、これらの諸問題における現状と課題について考察する	○		○	<p>a: 公害対策と環境保全、消費者問題や労働者における権利に関心を持ち、その内容を学ぼうとしている。</p> <p>b: 公害対策と環境保全、消費者問題や労働者における権利について思考し、意見を述べることができる。</p> <p>c: 公害対策と環境保全、消費者問題や労働者における権利に関する資料を収集し、権利を保障することについて考察する際に活用している。</p> <p>d: 公害対策と環境保全、消費者問題や労働者における権利について考察するために必要な知識を理解し身につけている。</p>	定期考査の得点と授業中に与えられた課題(プリントもしくはノート)を適切にまとめ、理解できているか。
3	国際経済の動向と貧困の解消	国際経済で貿易が行われている理由、為替相場のしくみ、地域経済統合の目的、グローバル化が進む世界経済の現状、新興国の台頭や金融危機・経済危機の変化や南北問題の現状について理解し、それらの現状と諸課題について考察する。	○	○		<p>a: 国際経済と国内経済の違いに関心を持ち、その内容を学ぼうとしている。</p> <p>b: 為替相場の安定や自由貿易の推進について思考し、その内容について意見を述べることができる。</p> <p>c: 経済のグローバル化に関する資料を収集し、課題を考察するために活用している。</p> <p>d: 国際経済の変容について考察するために必要な知識を理解し身につけている。</p>	定期考査の得点と授業中に与えられた課題(プリントもしくはノート)を適切にまとめ、理解できているか。

